



成果指標				
成果指標	狭隘地区、遠隔地に放水設備を設置する。(目標)4か所			
指標設定の考え方	火災発生時に初期消火を行うことで被害を最小限に収めるため、放水設備を設置することで、住みよいまちづくりが構築されている。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	2079	9558	0	0
実績	1260	143	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	5	A
		成果向上の可能性	5	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	5	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	消防水利の設置や維持管理に関しては、常に使用できる状態であることが条件であり、災害時に使用できない等の不慮の事故を防ぐためには、定期的に消防水利を点検する必要がある。また、消防水利充足率に基づいた整備を進めていくことが大切と認識している。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	5	A
		成果向上の可能性	5	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	5	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	消防水利は緊急時に常時使用できる状態でなければならない。漏水や改修にも速やかに対処すべきであるとともに、水利充足率に基づいた整備を着実に進めていく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	今後も一般財源が不足すると見込まれるため、現在の整備計画を精査する必要がある。

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。